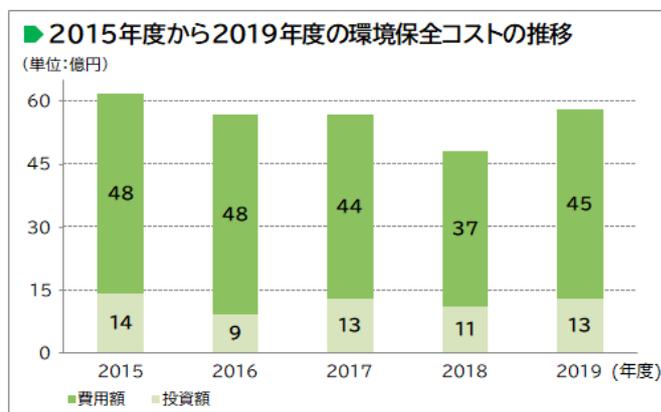


環境マネジメント

ミネベアミツミグループの環境会計

ミネベアミツミグループは、環境保全対策へのコストを認識するため、環境省が発行する「環境会計ガイドライン 2005年版」を参考に、環境会計の集計を行っています。当社グループの2019年度の環境保全コストの総額は58億円で、前年度と比較して20%増加しました。



2019年度の環境保全コスト集計表

(単位:百万円)

環境保全コスト		対象範囲合計			
分類	主な取り組み内容	投資額合計	費用額合計		
1 内訳	生産・サービス活動により事業エリア内に生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト (事業内エリアコスト)	1,257	3,696		
	(1) 公害防止コスト			318	785
	(2) 地球環境保全コスト			793	1,953
	(3) 資源循環コスト			146	958
2	生産・サービス活動に伴って上流または下流で生じる環境負荷を抑制するためのコスト (上下流コスト)	9	136		
3	管理活動における環境保全コスト(管理活動コスト)	15	610		
4	研究開発活動における環境保全コスト(研究開発コスト)	0	1		
5	社会活動における環境保全コスト(社会活動コスト)	0	6		
6	環境損傷に対するコスト	0	94		
	(環境損傷コスト)				
合計		1,281	4,543		

円換算レート

1USD=¥109.13 1EUR=¥121.27 1THB=¥3.52 1CNY=¥15.68
1SGD=¥79.73 1GBP=¥138.95 1MYR=¥26.25 1PHP=¥2.14

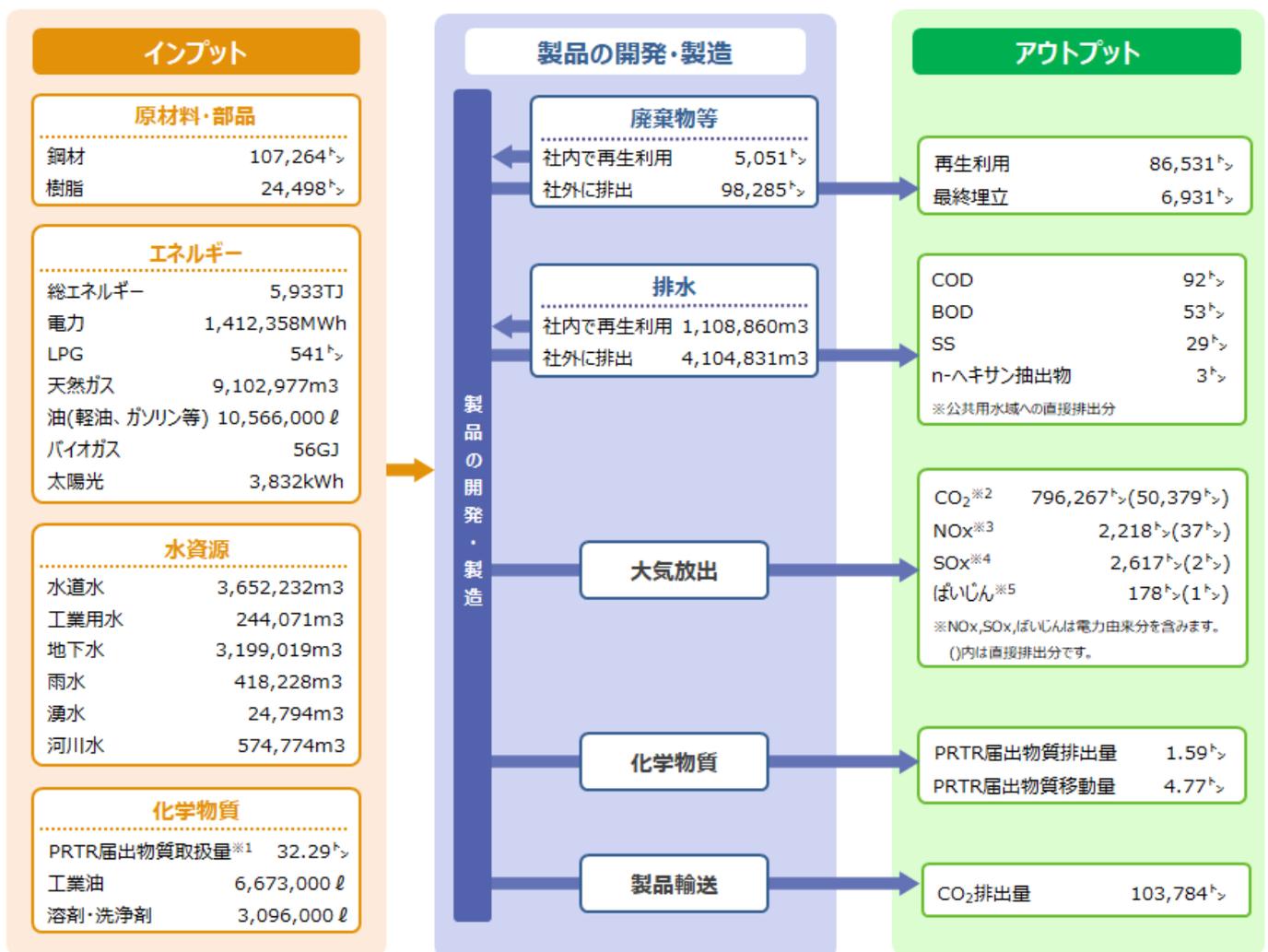
ミネベアミツミグループの環境負荷

ミネベアミツミグループは、世界 22 カ国に 94 の生産・開発拠点を有し、主力のベアリングをはじめとする機械加工品、電子機器、回転機器など、多様な製品を生産、販売しています。環境負荷を売上高の生産地域別比率から見た場合、当社グループは日本を除くアジア地域で約 75 %を消費、あるいは排出しています。

2019 年度は、前年度と比較して総エネルギー量は 4.6%増加、工業油 17.6%減少し、溶剤・洗浄剤も 14.0%減少しました。

2019 年度の当社グループの環境負荷は以下のとおりです。

▶ インput・アウトput (2019年度実績)



集計範囲：生産拠点、連結決算の対象、資本比率が100%

※1 PRTR物質：PRTR(化学物質排出把握管理促進法/日本国内法)により排出量・移動量を把握し、届け出ること定められた化学物質。記載した数値は行政に届出した量

※2 CO₂：二酸化炭素

※3 NOx：窒素酸化物

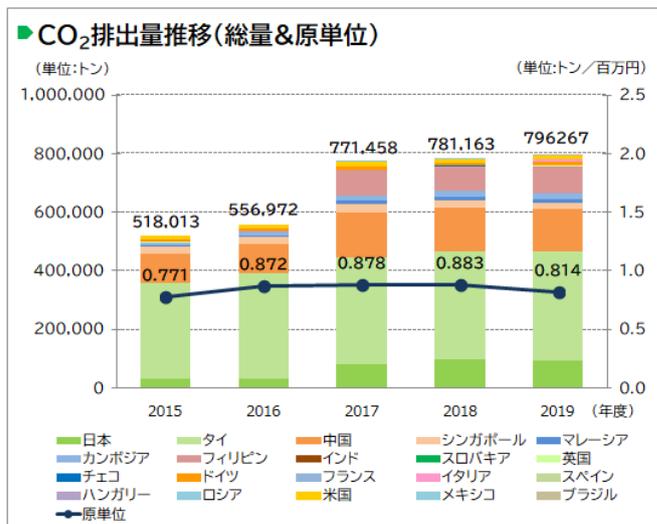
※4 SOx：硫黄酸化物

※5 ばいじん：燃焼、加熱および化学反応などにより発生する排出ガス中に含まれる粒子上物質

地球温暖化防止の取り組み

2019 年度の取り組み結果

2019 年度のミネベアミツミグループ全体の CO₂ 排出量は 796,267 トンで前年度と比較して 1.9%増加し、生産高原単位より CO₂ 排出量をとらえた場合は、0.814 トン/百万円で、前年度と比較して 7.8%減少しました。



物流部門の取り組み

物流の CO₂ 排出量

ミネベアミツミグループは自社の直接の CO₂ 排出であるスコープ 1 (ガス、石油)、スコープ 2 (電気) の CO₂ 排出量に加え、スコープ 3 (輸送・流通) となる物流 (製品輸送) の CO₂ 排出量の把握に取り組んでいます。

2019 年度のミネベアミツミグループの製品輸送による CO₂ 排出量は 103,784 トンで、前年度と比較して 20%減少しました。



資源の有効活用の取り組み

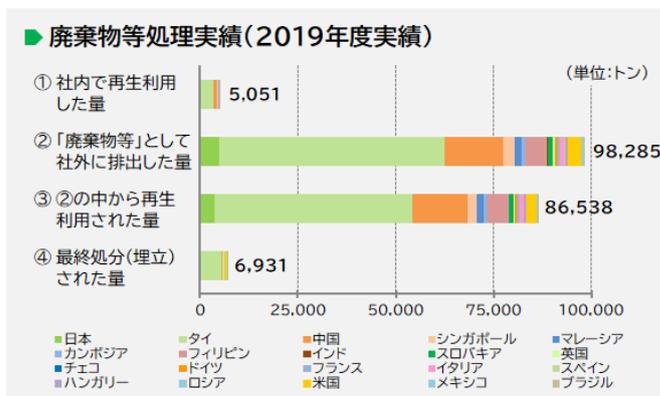
2019 年度の取り組み結果

2019 年度にミネバアミツミグループ全体で使用された主な原材料は、鋼材：約 107,264 トン、樹脂：約 24,498 トンで、合計量は前年度と比較して 9.1%増加しました。

また、当社グループから社外に排出された後、最終処分（埋立）された廃棄物量は 6,931 トンで、前年度[※]と比較して 19.1%減少しました。

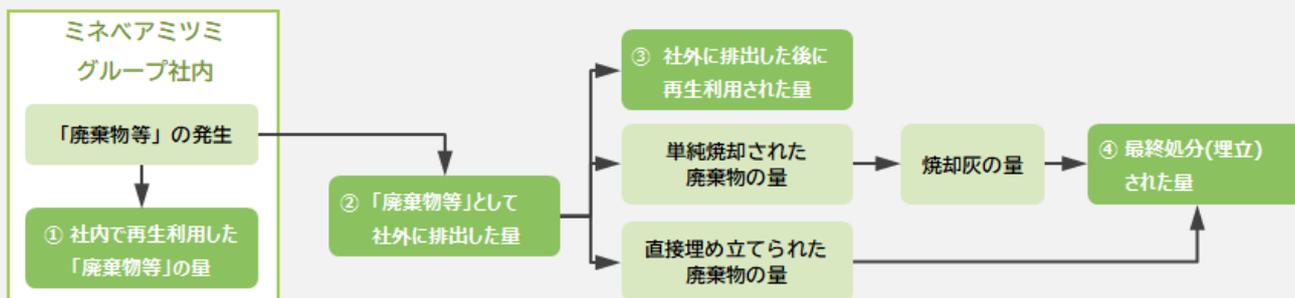
尚、当社グループではタイや中国の量産工場において、工場内で発生した排水を可能な限りサイクルし、工場外に排出しない「工場排水ゼロシステム」を運用しています。

2019 年度の当社グループにおける工場排水量は 4,104,831 m³で、前年度と比較して 556,096 m³の増加となりました。



※ 「④最終処分(埋立)された量」は、今年度からタイのスラッジが集計に加わりました。

■ ミネバアミツミから発生する廃棄物等の流れと把握方法



環境負荷物質削減の取り組み

事業所における取り組み

■ PRTR 物質の管理（日本）

日本国内の各事業所は PRTR 法（化学物質排出把握管理促進法）に基づき、PRTR 対象物質の取扱量、移動量を管理しています。

■ 2019 年度の報告実績

(単位:トン)

政令番号	物質名	取扱量	排出量			移動量		消費量	除去処理量
			大気	水域	埋立て	廃棄物	下水道		
71	塩化第二鉄	3.35	0	0	0	0	0	0	3.35
349	フェノール	1.52	0.06	0	0	1.46	0	0	0.00
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	21.49	0.22	0	0	0	1.08	0	20.20
384	1-ブロモプロパン	2.72	1.24	0	0	0.75	0	0	0.73
438	メチルナフタレン	3.21	0.07	0	0	1.49	0	0	1.65
合計		32.29	1.59			4.77		0	25.94